

J-クレジットの創出に向けた 支援について

2022年11月30日



北電総合設計株式会社

1. 支援内容

J-クレジット制度に対する支援の主な役割

北電総合設計

オフセット先の開拓、クレジット活用に関する相談対応など
(北海道環境財団)

北海道内の支援を受託

制度活用に関する案件発掘、登録に関する相談対応など

【2022年度の主な支援内容】

- ①制度への登録案件の発掘
- ②同登録までの支援
- ③登録後のクレジット認証
- ④クレジット活用支援
- ⑤制度説明会(セミナー開催)

J-クレジット制度



資金
→
←
クレジット



審査機関

プロジェクトの妥当性確認と検証

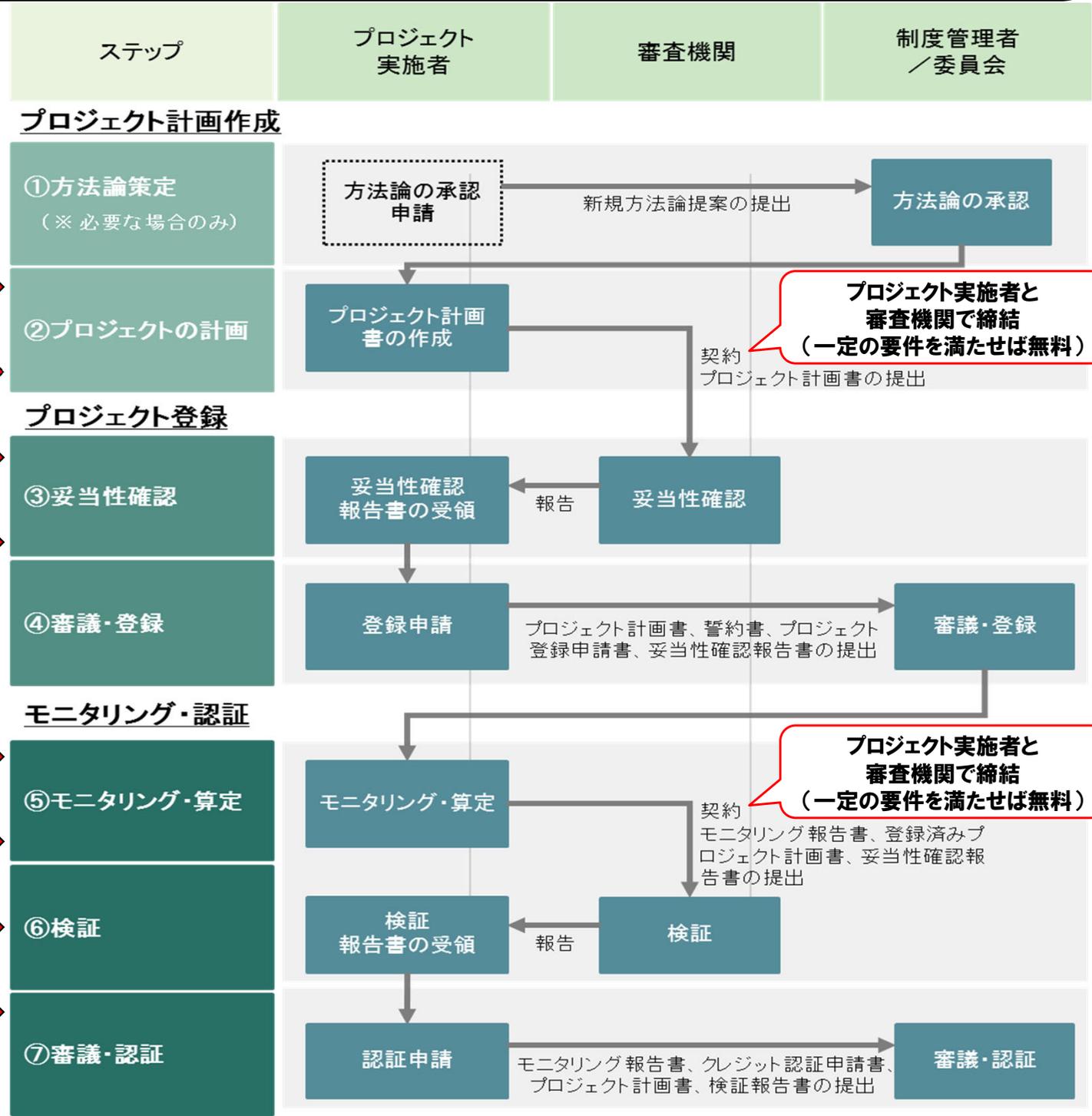
プロジェクトに対する支援の実施内容(2022年度)

**無料で支援
(要件は次頁以降で)**



- プロジェクト内容確認
- プロジェクト計画書作成
- 制度管理者との対応
- 審査機関との対応

- モニタリング内容確認
- モニタリング報告書作成
- 制度管理者との対応
- 審査機関との対応



登録にあたっての主な要件・判断基準

- ① **登録申請日の2年前の日以降に稼働(実施)開始したもの。**
- ② 対象期間は登録申請日から8年間だが、ベースラインの見直しによりさらに8年間延長できる。
- ③ 他の類似制度(グリーン電力証書、地方自治体の類似制度等)に登録していないこと。
- ④ Jクレジット制度が定める方法論に基づくこと。(新規作成も可)
また、方法論の適用条件に適合していること。
- ⑤ 追加性を有している(投資回収年が3年以上を有している)
- ⑥ 燃料や使用熱量のモニタリングが可能であること。
- ⑦ 補助金を利用している場合、補助金要件でJクレジット制度に登録できなくなっている可能性もある

登録・クレジット認証に必要な資料

- ①旧設備(撤去した設備)の仕様がわかるもの
(カタログ、納入仕様書、図面、設備の写真など)
 - ②今回設置した設備の仕様がわかるもの
(カタログ、納入仕様書、図面、設備の写真など)
 - ③エネルギー使用量の把握方法とそのデータ
(登録前は想定値で良い)
 - ④イニシャルコスト:設備投資額
(補助金を利用している場合は補助金名称、補助額、自己負担額)
 - ⑤ランニングコスト:・電気、ガス、燃料の支払い代金
(登録前は想定値で良い)
- ※設備の年間保守費用、年間メンテナンス費用含む

登録時に無料支援を受けるための条件(2022年度)

(前スライドの具体的要件に加えて下記条件が必要です)

- ①中小企業基本法の対象事業者(法人単体で)、自治体、公益法人(医療法人、福祉法人、学校法人等も含む)、その他大企業以外。
- ②登録に必要な書類(プロジェクト計画書)の作成支援は、1事業者当たり1方法論につき1回限り。
- ③審査機関の妥当性確認に要する費用の支援(※)は、1事業者同一年度内に2回まで。
- ④平均で100t-CO₂/年以上の排出削減(吸収・固定)が見込まれること。

(※)北海道以外の地域では20%の自己負担がルールですが、北海道経済産業局が支援するプロジェクトは独自の施策として原則全額支援します。

北海道内におけるJ-クレジット登録プロジェクト(抜粋)

プロジェクト実施者、運営管理者	事業概要	方法論	排出削減量 (t-CO2/年)
北海道新エネルギー事業組合	農業用ハウスにおける空調設備の新設(電気)	EN-S-004	20
旭川市	住宅における太陽光発電設備の導入(あさひかわ太陽光倶楽部)	EN-R-002	278
帯広市	住宅における太陽光発電設備の導入(おひさまソーラーネット帯広)	EN-R-002	1,251
芦別市	ホテルにおけるバイオマス固形燃料による化石燃料の代替(A重油→木質バイオマス)	EN-R-001	2,471
美幌町	公共施設における空調設備の更新(軽油→電気) 照明設備の更新(LED化)	EN-S-004 EN-S-006	3
占冠村	公共施設におけるバイオマス固形燃料による化石燃料の代替(A重油→薪)	EN-R-001	41
厚沢部町	公共施設におけるバイオマス固形燃料による化石燃料の代替(A重油→木質チップ)	EN-R-001	169
美深町	公共施設におけるバイオマス固形燃料による化石燃料の代替(A重油、灯油→木質チップ)、太陽光発電設備の導入	EN-R-001 EN-R-002	268
洞爺湖温泉利用協同組合	温泉施設における再生可能エネルギー熱を利用する発電設備の導入	EN-R-009	152
オシキリ食品	食品工場におけるボイラーの更新(A重油→天然ガス)	EN-S-001	335
遠軽町	公共施設におけるバイオマス固形燃料(木質バイオマス)による化石燃料の代替(A重油→木質チップ)	EN-R-001	148
萬世閣	温泉施設におけるヒートポンプの導入(A重油→電気)、再生可能エネルギー熱を利用する熱源設備の導入(A重油→再エネ熱)	EN-S-002 EN-R-003	620
はるにれ	病院におけるボイラーの更新(A重油→都市ガス)	EN-S-001	125

2. 制度登録事例

芦別温泉スターライトホテル プロジェクト概要

プロジェクト概要	「芦別温泉スターライトホテル」、「国民宿舎あしべつ」、「星遊館」の暖房、給湯、温泉加温に使用しているA重油ボイラーを、木質ペレットボイラーに更新
登録申請日	2015年3月24日
プロジェクト登録	2015年5月29日(第11回認証委員会)



ホテル外観



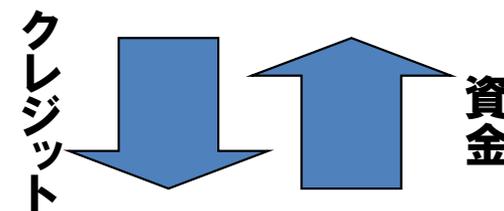
木質チップボイラー

芦別温泉スターライトホテル 排出削減プロジェクトのイメージ

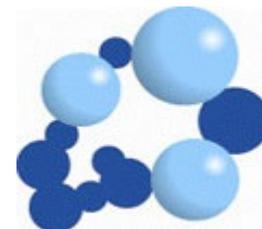
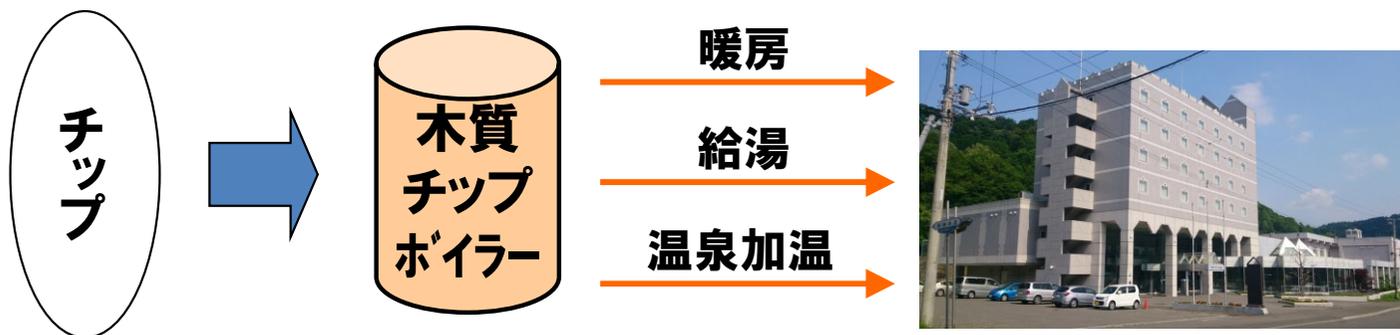
方法論EN-R-001

バイオマス固形燃料(木質バイオマス)による化石燃料
又は系統電力の代替

【プロジェクト実施前】



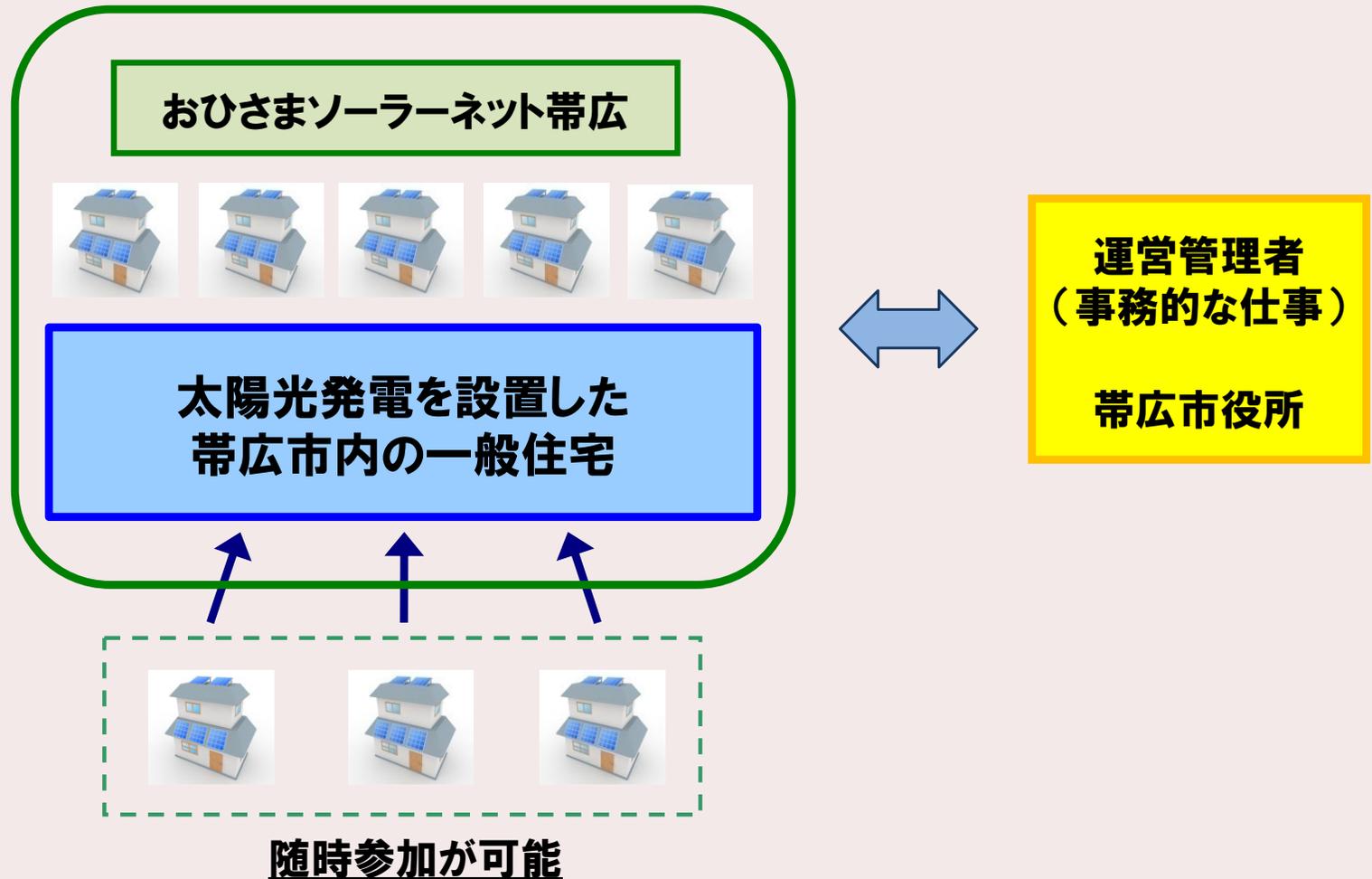
【プロジェクト実施後】



帯広市 プロジェクト概要

事業概要

【プログラム型】



登録申請日

2014年7月14日

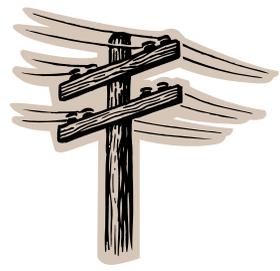
プロジェクト登録

2014年8月4日(第6回認証委員会)

帯広市 家庭用太陽光発電 排出削減プロジェクトのイメージ

【プロジェクト実施前】

方法論EN-R-002 太陽光発電設備の導入



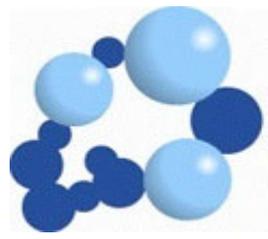
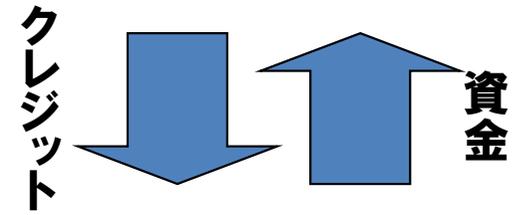
電力会社



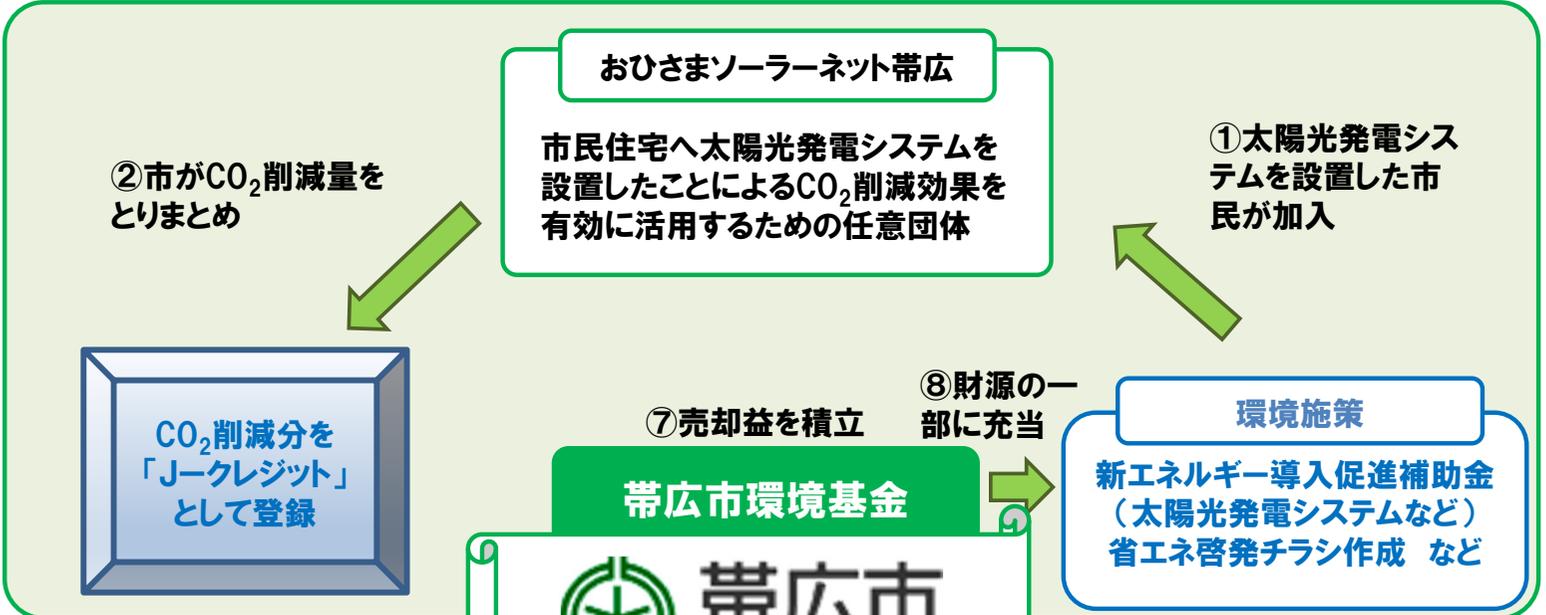
【プロジェクト実施後】



電力会社

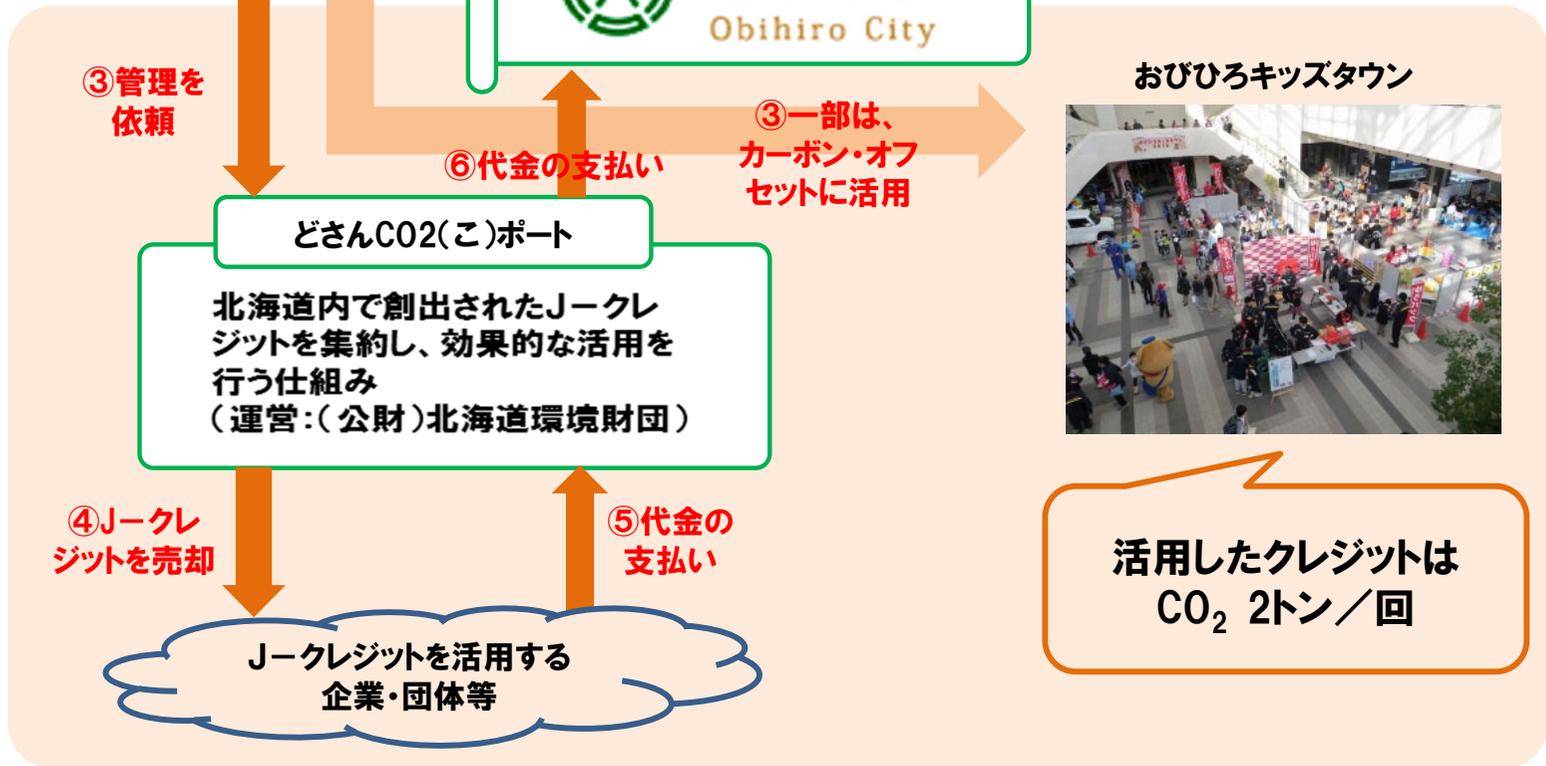


帯広市 家庭用太陽光発電 クレジット創出から活用までの全体像



→ J-クレジット創出の流れ

→ J-クレジット活用の流れ



【参 考】

■CO₂の量のイメージ

1t-CO2のイメージ

灯油	402リットル	一般的なホームタンク(490リットル程度)の約8割
A重油	369リットル	ドラム缶(200リットル)で約1.8本
都市ガス (北海道ガス)	約424m ³	主に都市ガスを暖房熱源とする道内集合住宅1世帯の約5カ月分(注1)
電気(注2)	約1,800kWh	主に電気を暖房熱源とする道内戸建住宅1世帯の約4カ月分(注1)

(注1)北海道エネルギー問題関連調査(平成23年2月、北海道)の調査結果より試算

(注2)北海道電力2020年度排出係数:0.549kg-CO₂/kWh

年間100トンのCO2を排出削減できる目安

■A重油ボイラーから木質バイオマスボイラーへ切り替える場合



A重油
ボイラー



木質バイオマス
ボイラー

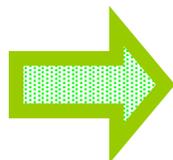
A重油約37キロリットル

※A重油ボイラー効率0.85

■直管型蛍光灯(従来型FLR)から直管型LEDへ取り替える場合



従来型 (40W)



LED (17W)

約1,500本

※1日15時間毎日点灯

※排出係数0.549kg-CO2/kWh
(北海道電力2020年度)

本資料でご不明な点はお問い合わせください。

北電総合設計株式会社 エネルギー部



〒060-0031

札幌市中央区北1条東3丁目1 北電興業ビル4F

TEL : 011-261-6545(直通)

E-mail : energy-hss@hokuss.co.jp